DNSサービス

セットアップガイド

NTT docomo Business

第1.7版

2026年 11月

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

DNSサービス セットアップガイド改版履歴

Ver1.0	2019.2.1	新規作成
Ver1.1	2022.3.16	2、2-1 多要素認証でのログイン方式に更新
Ver1.2	2022.7.5	2-1 認証ID/パスワードを紛失された場合の説明を削除
Ver1.66	2025.11.26	大幅に改定 ・章立ての順序、記載内容を全体的にデザイン変更 ・ログイン時の2要素認証を追加 ・ホスト名のDKIM, DMARCのみ「_」を使用許可の例外を記載を追加 ・TXTレコードに「“」による分割をできない注意を追加
Ver1.7	2026.11.20	軽微な修正（目次の項目番号修正、ページ番号の修正）

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

目　次

はじめに　P. 4

1. サービス概要
　1-1. サービスプランについて　P. 5

2. DNSサービス
　2-１.「ご利用内容のご案内」について　P. 6
　2-2. セットアップの流れ　P. 7
　2-3. ゾーンファイルの登録　P. 8
　　2-3-1. コントロールパネルへのログイン　P. 9
　　(1) ログイン画面
　　(2) 設定メニュー画面
　　(3) ゾーンファイルのダウンロード
　　(4) ダウンロードファイルの形式
　　2-3-2. レコード単位による編集の場合　P. 12
　　(1) レコード編集画面
　　(2) レコードの追加
　　(3) レコードの変更
　　(4) レコードの削除
　　(5) レコード内容の確認および登録
　　2-3-3. ファイルアップロードによる編集の場合　P. 15
　　(1) ファイルアップロード画面
　　(2) ゾーンファイルのアップロード
　　(3) ファイル内容の確認および登録
　2-4. ゾーンファイルの登録確認　P. 17

3. レコード一覧　P. 18
　(1) レコード種別
　(2) SOAレコード
　(3) NSレコード
　(4) Aレコード
　(5) CNAMEレコード
　(6) MXレコード
　(7) TXTレコード
　(8) SRVレコード
　(9) AAAAレコード
　(10) A6レコード
　(11) DNAMEレコード
　(12) $TTL

4. ゾーンファイル編集時の注意点　P. 25
　4-1. チェック項目と制限事項　P. 25
　4-2. その他の編集時の注意点　P. 26
　　(1) コントロールパネルの操作上の注意点
　　(2) レコード記述上の注意点
　　(3) レコード単位の編集上の注意点
　　(4) ファイルアップロードによる編集上の注意点
　4-3. エラーメッセージ　P. 28

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

はじめに

本「セットアップガイド」は、DNSサービスを利用いただくための 代表的な設定方法の一例をご紹介したガイドとなっております。

なお、各種設定等については、お客さまの責任において変更をしていただくこととなりますので、ガイド記載以外のサーバ設定変更等のご質問についてはサポート致しかねます。あらかじめご了承ください。

ご注意事項

※本セットアップガイドで紹介する設定例については、あくまで参考として掲載しております。お客さまのご利用形態によって設定内容も異なりますので、詳細についてはお客さまシステム管理者にお問い合せのうえ、お客さまの責任において実施していただく必要があります。

※お客さま自身の設定方法によっては動作しない場合やトラブルとなる可能性があります。その際も弊社では一切保証しかねますのであらかじめご了承下さい。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

1. サービス概要

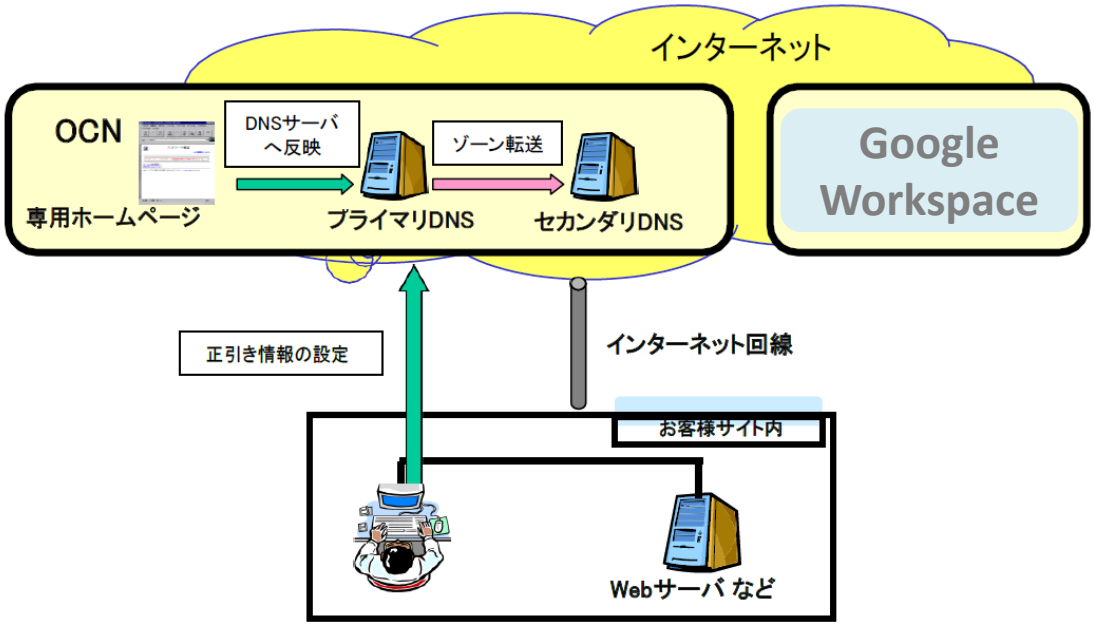
1-1. サービスプランについて

本サービスは、以下のDNS機能を提供します。

Google Workspace『DNSサービス』

プライマリDNSとセカンダリDNSの2つの機能を提供します。
プライマリDNSへの正引きの設定は、専用ホームページ（コントロール パネル）よりお客さまにて設定していただくことができます。
本サービスはOCNのDNSサービスを利用いたします

- プライマリDNS、セカンダリDNS機能を提供
- 専用ホームページより、正引きの設定が可能



© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

2. DNSサービス

2-1.「ご利用内容のご案内」について

『DNSサービス』をご利用になる場合、DNSサービスの「ご利用内容のご案内」に必要情報を記載し、送付いたします。下記を参照しながら、本セットアップガイドに従って、各種設定を実施してください。

認証ID	「2-3. ゾーンファイルの登録」で利用
認証パスワード	「2-3. ゾーンファイルの登録」で利用

※コントロールパネルへのアクセス時に利用いただく認証ID,認証パスワードになります。
パスワードを忘れた場合、コントロールパネルのパスワード変更を変更申込書でお申込みください。
ワンタイムパスワード認証のメールアドレスをリセットしたい場合はサポートデスクに問い合わせください。

ゾーン名	「2-3. ゾーンファイルの登録」で利用

※お客さま編集可能なゾーン名を表示しております。
コントロールパネルへアクセス時に利用いただきます。

【登録DNS】

ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSサーバ名	「2-2. セットアップの流れ 手順②」で利用
ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSサーバ名	「2-2. セットアップの流れ 手順②」で利用

※お客さまにご利用いただくDNSサーバ名です。
指定事業者変更やネームサーバ変更時にご参照いただきます。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

2-2. セットアップの流れ

手順① ゾーンファイルの登録（コントロールパネル上での編集）

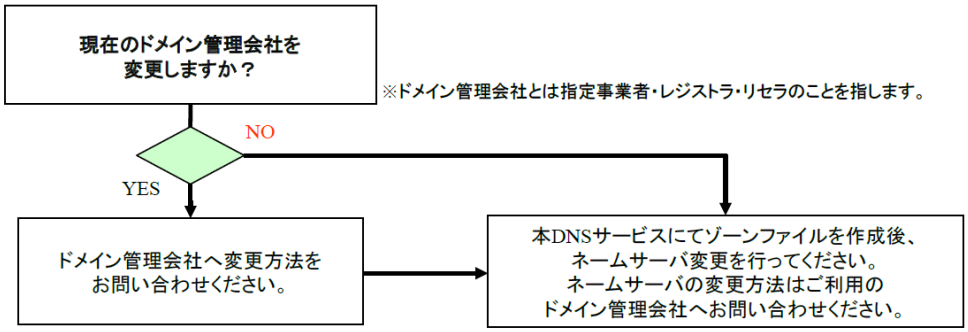
お客さまご利用環境にあわせて、ゾーンファイルと呼ばれるDNS情報を登録します。ゾーンファイル登録の際に、コントロールパネルと呼ばれるお客さま専用WEBをご利用いただきます。コントロールパネルにログインするためには、「2-1.「ご利用内容のご案内」について」でご案内する**「認証ID」「認証パスワード」**でログインします。

手順② ネームサーバ情報の変更（ドメイン取得事業者、ネームサーバ運営事業者への変更申込）

ドメイン取得事業者もしくは現在ご利用のネームサーバ運営事業者に対して、ドメイン情報における「ネームサーバ情報」の変更（指定事業者の変更）申込を実施する必要があります。 ネームサーバ情報を「2-1.「ご利用内容のご案内」について」で指定している**「プライマリDNSサーバ名」**ならびに**「セカンダリDNSサーバ名」**へ変更願います。

尚、すでに変更実施済みの場合は、手順③にすすみます。

以下のフローチャートを参照し、お客様にあった変更を実施してください。



手順③ ゾーンファイルの登録確認

注意 ゾーンファイルの登録確認は、ネームサーバ情報の変更完了後（手順②完了後）に実施してください。

ゾーンファイル編集の必要性について

注意 DNSサービスではサービス開通後、お客様がゾーンファイルの編集を行う必要があります。お客様で編集を行うまでは名前解決が正常に行われず、通信できない可能性があるため、開通日には速やかにゾーンファイルを編集してください。
特に既存のドメインまたはサブドメインを本DNSサービスに移行する場合にはご注意ください。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

2-3. ゾーンファイルの登録

DNSサービスをお客さま環境にてご利用いただくにあたり、ゾーンファイルの編集・登録を実施していただく必要が あります（開通日よりご利用になれます）

DNSサービスをご利用のお客さまはゾーンファイルの登録をコントロールパネルと呼ぶ専用のWEBで 実施します。

コントロールパネルへは、以下ホームページよりアクセスすることができます。

https://nwp.ntt.com/dnshosting

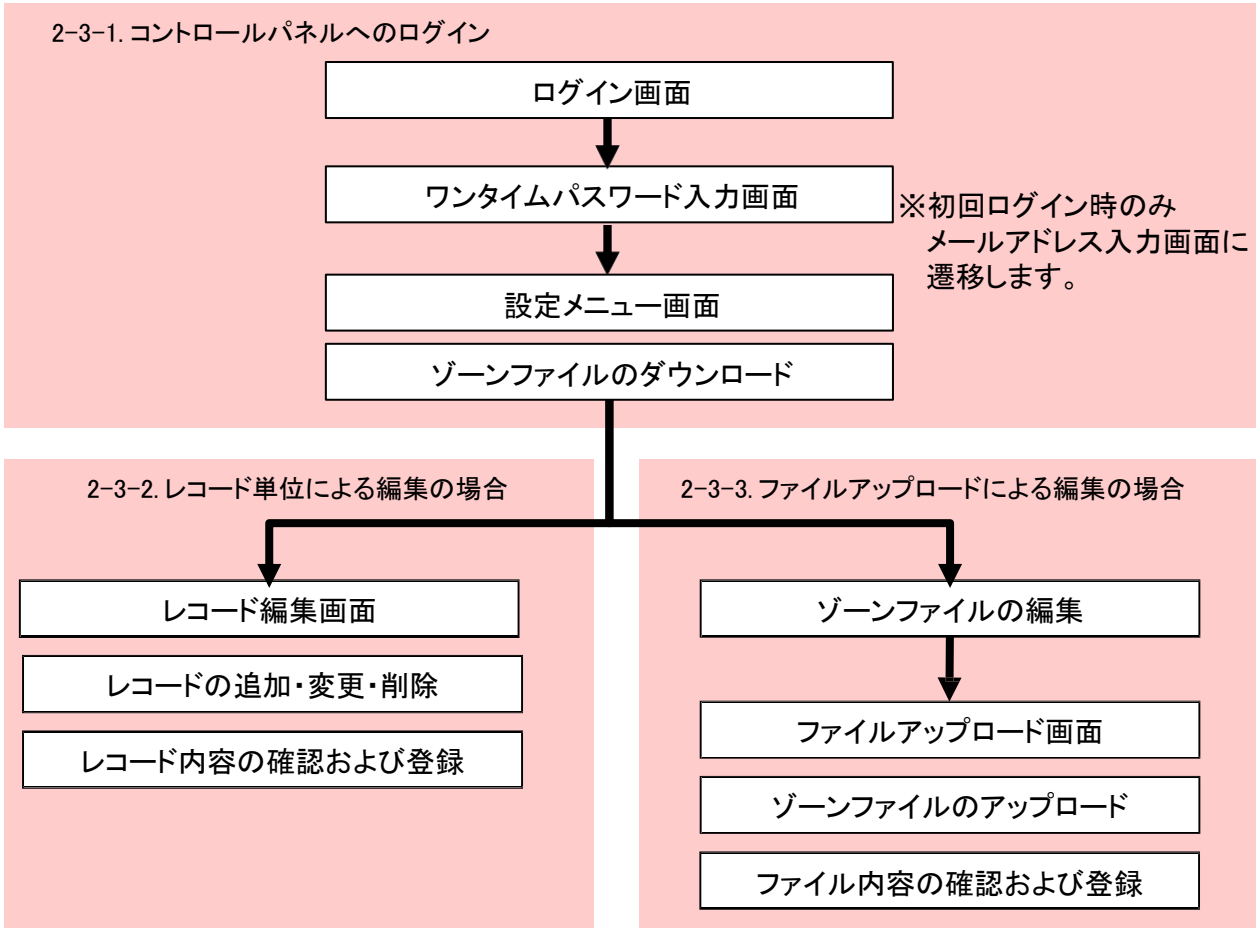
注意

コントロールパネルへアクセスするための「認証ID」「認証パスワード」は、「2-1.「ご利用内容のご案内」について」にてご確認ください。

注意

DNSサービスのコントロールパネル使用にあたっての推奨ブラウザは、Edge(最新版)となります。その他のブラウザ（Opera等）はゾーンファイルのアップロード設定において不具合が発生することがございますのでご注意願います。

ゾーンファイル登録方法は、ゾーンファイル全体を編集する方法とコントロールパネル上でレコード単位に編集する方法 の2通りがあります。



注意

・新規登録の場合も変更登録の場合も、同様の手順となります。
・設定内容のバックアップとして必要に応じて、ゾーンファイルのダウンロードをご利用ください。
・コントロールパネルは最新のゾーンファイル情報しか保持しません。編集前にバックアップを取得することを推奨します。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

2-3-1. コントロールパネルへのログイン

(1)ログイン画面

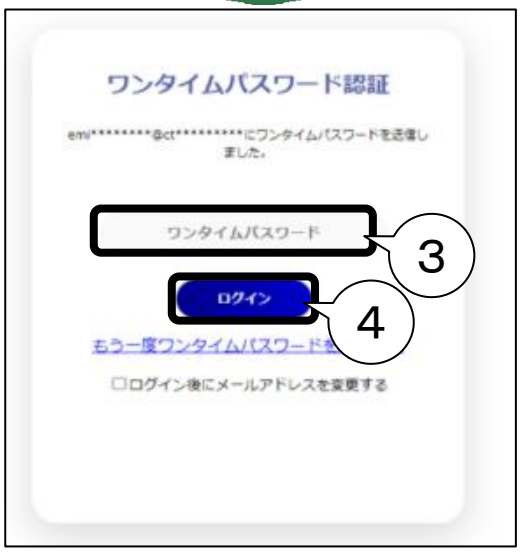
次のアドレス(https://nwp.ntt.com/dnshosting) へアクセスすると、画面が表示されます。



① 「ご利用内容のご案内」に記載されている
「ゾーン名」*2
「認証ID」*1,2
「パスワード」*1,2
を入力してください。

② 「ログイン」をクリックします。

※英語表記を希望されるお客様は、「English menu」をクリックしてください。



③ ワンタイムパスワード認証の画面が表示されます。
登録されたメールアドレス宛にワンタイムパスワードが届き ます。
記載されているワンタイムパスワードを入力してください。

④ 「ログイン」をクリックします。

※初回ログインでは、「メールアドレス登録画面」が表示されます。
ワンタイムパスワード記載のメールが受信できるメールアドレスを登録してください。



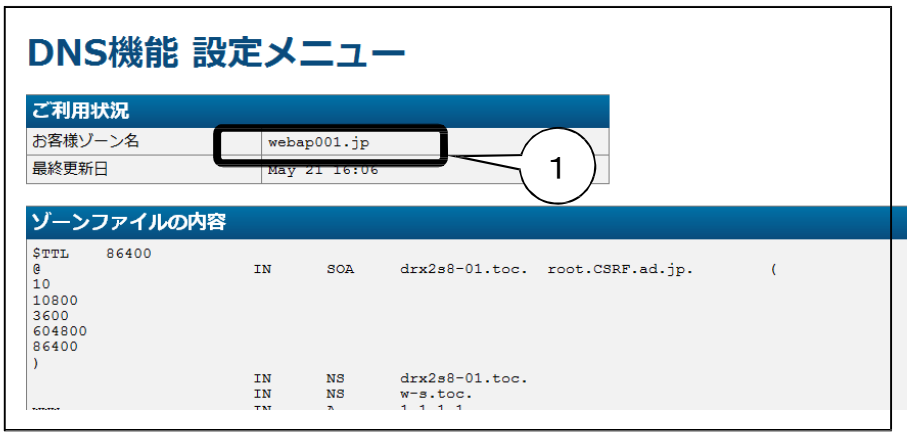
注意

*1 コントロールパネル編集用の「認証ID」「パスワード」は、ドメイン毎に、「認証ID」「パスワード」を付与させて頂きます。ログインするための情報は、「ゾーン名(ドメイン名)」「認証ID」「パスワード」となります。

*2 パスワードを忘れた場合、コントロールパネルのパスワード変更を変更申込書でお申込みください。
ワンタイムパスワード認証のメールアドレスをリセットしたい場合はサポートデスクに問い合わせください。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（2）設定メニュー画面



①前画面で登録したゾーン名が表示されます。



②画面上でレコードを個別に追加・編集・削除したい場合は「レコード編集」ボタンをクリックします。

2-3-2 へ

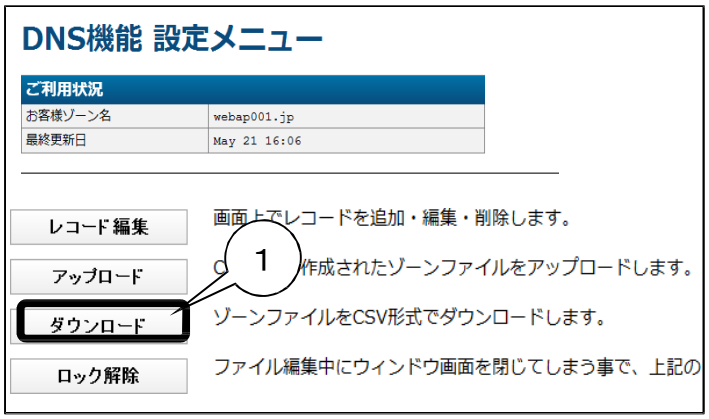
③ゾーンファイル全体を登録/変更する場合は、「アップロード」ボタンをクリックします。

2-3-3 へ

④登録されているゾーンファイルを取得する場合は、「ダウンロード」ボタンをクリックします。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

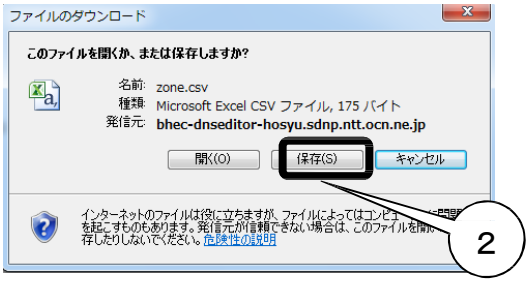
(3) ゾーンファイルのダウンロード



①設定メニュー画面で「ダウンロード」ボタンを
クリックすると、「ファイルのダウンロード」
ウィンドウが表示されます。

②「保存」ボタンを選択すると、現在、登録されて
いるゾーンファイルをお客さまパソコン上に
保存することができます。

尚、「開く」ボタンを選択すると、csvファイルが開き
現在のゾーンファイルを参照することができます。





(4) ダウンロードファイルの形式

zone.csv(例)

	A	B	C	D	E	F
1	$TTL		86400			
2	@		IN	SOA	ns6-tk01.ocn.ad.jp	root.ocn.ad.jp
3						
4	10800					
5	3600					
6	604800					
7	86400					
8	)					
9			IN	NS	ns6-tk01.ocn.ad.jp	
10			IN	NS	ns6-tk02.ocn.ad.jp	
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						

← レコード①

← レコード②

ダウンロードされたデータは「csv形式」のファイルです。

■はじめてダウンロードした場合
ダウンロードしたゾーンファイルは、レコード①は、初期値が記述されております。

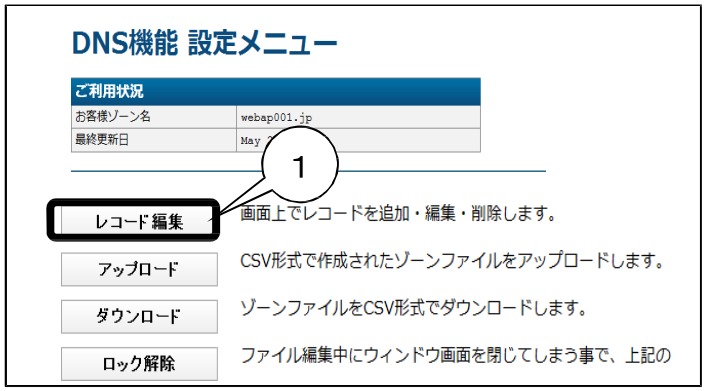
■ゾーンファイルを一度でも登録したことがある場合
ゾーンファイルは、前回登録したレコード①②がダウンロードされます。

※1世代分、ゾーンファイルがバックアップされます。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

2-3-2. レコード単位による編集の場合

（1）レコード編集画面

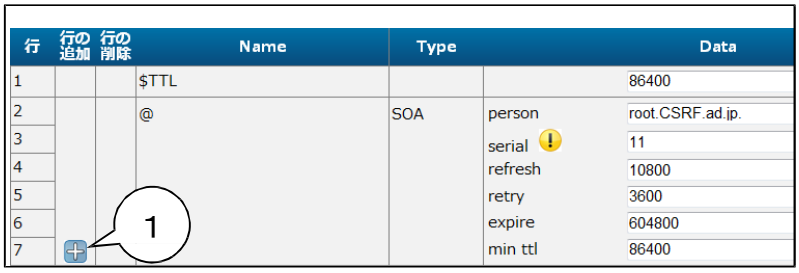


①設定メニュー画面にて
　レコード編集ボタンをクリックします。

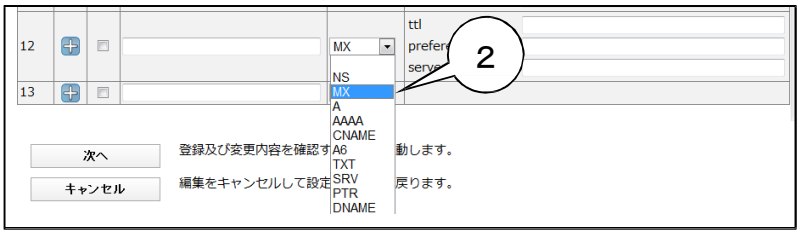


②レコード編集画面が起動します。

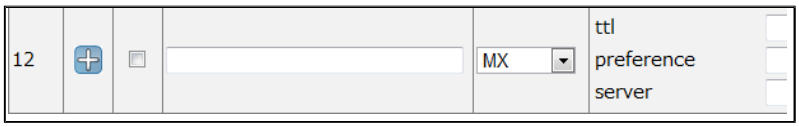
（2）レコードの追加



①レコード編集画面で行の追加欄にある ボタンをクリックします。



②ボタンのある行の下に空の行が追加されるのでType欄から追加したいレコード種別を選択します。



③②で選択したレコード種別に対応した項目が表示されるので入力してください。
入力が終了したら（5）レコード内容の確認および登録に進みます。

注意　追加できるレコード種別はNS,MX,A,CNAME,AAAA,TXT,SRV,A6,DNAMEです。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

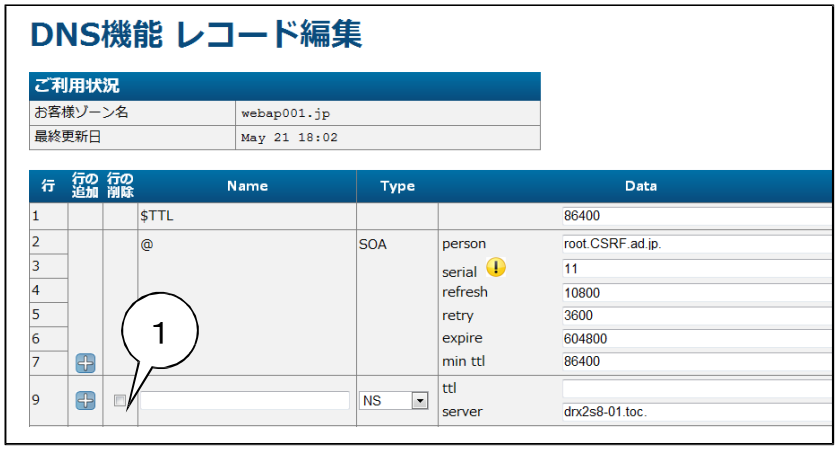
（3）レコードの変更



①編集可能な値には新しい値を入力するフィールドが表示されています。対象の フィールドに新しい値を入力したら
（5）レコード内容の確認および登録に進みます。

注意 編集できるレコード種別はSOA(一部不可),NS,MX,A,CNAME,AAAA,TXT,SRV,A6,DNAMEです。

（4）レコードの削除



①削除可能なレコードには削除欄にチェックボックスが表示されます。対象のフィールドにチェックを入力したら、
（5）レコード内容の確認および登録に進みます。

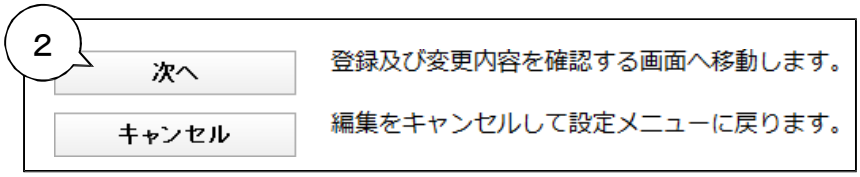
注意 編集できるレコード種別はNS,MX,A,CNAME,AAAA,TXT,SRV,A6,DNAMEです。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（5）レコード内容の確認および登録



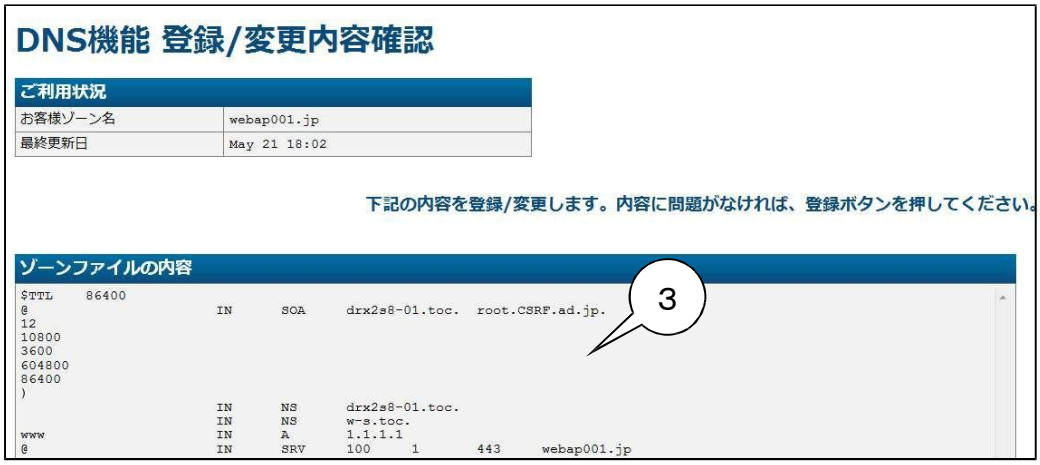
①編集後はSOAレコードのSerial値を必ず更新してください。



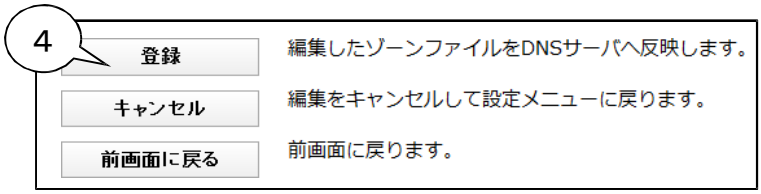
②「次へ」をクリックします。

注意

「次へ」をクリックすると編集内容の文法チェックが行われます。編集内容にエラーがある場合はレコード編集画面上部にエラーメッセージが出力されます。
（SOAレコードのserial値を更新していない場合もエラーメッセージが出力されます）
エラーを取り除いた後、再度「次へ」ボタンをクリックしてください。



③ゾーンファイル内容が表示されるので確認してください。



④ゾーンファイル内容に問題がなければ「登録」ボタンをクリックします。



⑤登録結果画面が表示されます。

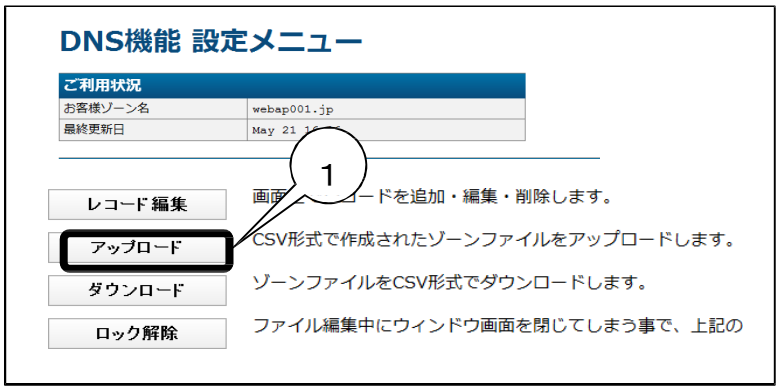
注意

登録／変更されたゾーンファイルは、登録ボタンを押下後、即座に反映されます。
セカンダリDNSに対しても更新されたゾーンに関するコマンドが送出されます。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

2-3-3. ファイルアップロードによる編集の場合

（1）ファイルアップロード画面



①設定メニュー画面にて
　アップロードボタンをクリックします。

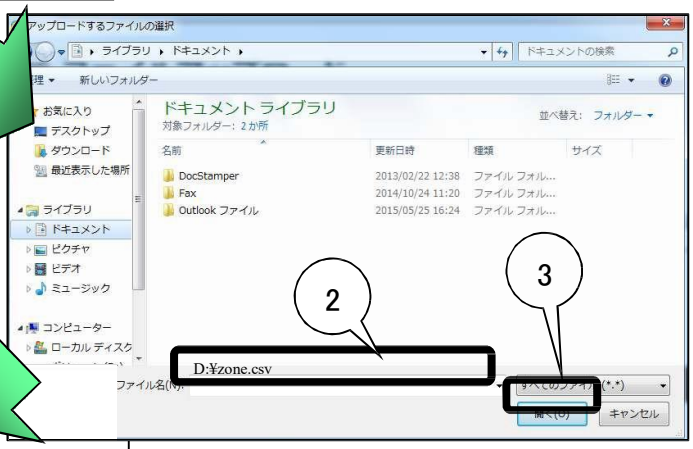
(2) ゾーンファイルのアップロード



①登録するゾーンファイルを参照するため「参照」ボタンをクリックします。

②作成したゾーンファイルを参照します。

③「開く」ボタンをクリックします。





④登録するゾーンファイルが参照され、表示されます。

⑤「次へ」ボタンをクリックします。

注意

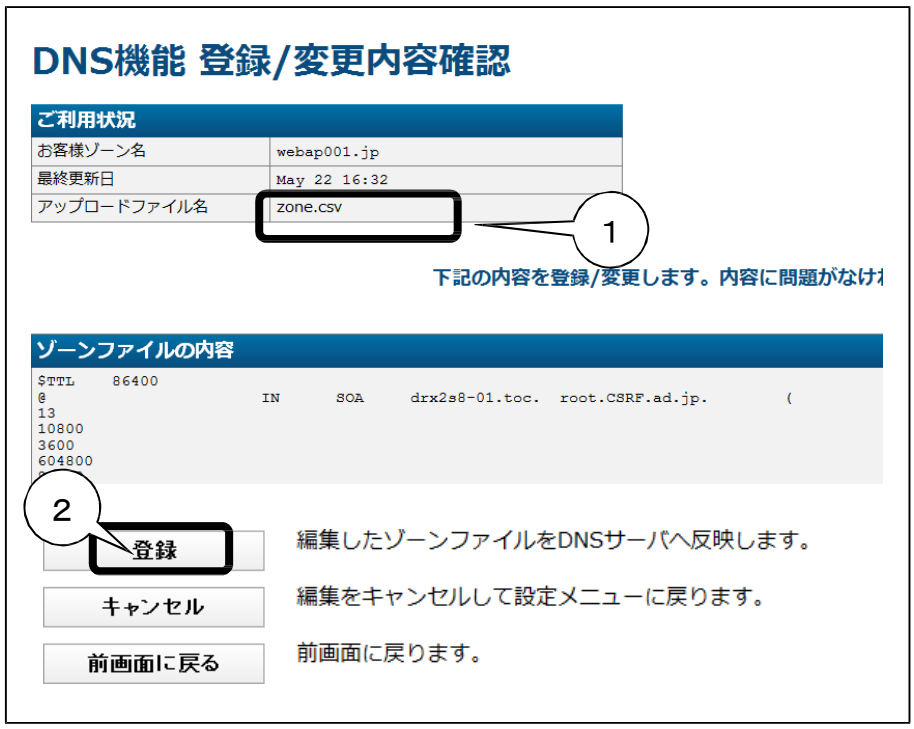
・登録/変更するゾーンファイルは、設定メニュー画面よりダウンロードしたファイル（csv形式）を編集したものをご利用ください。

・Excelで編集する場合は必ず「ファイルの種類」を「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」にして保存して下さい。

・「次へ」をクリックすると、編集内容の文法チェックが行われます。エラーメッセージが表示された場合は、ファイルを編集し、エラーを取り除いた状態で再度、アップロードしてください

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（3）ファイル内容の確認および登録



①登録/変更するファイルを確認します。

②「登録」ボタンをクリックします。



③登録結果画面が表示されます。最終更新日と内容を確認してください。

注意

登録／変更されたゾーンファイルは、登録ボタンを押下後、即座に反映されます。
セカンダリDNSに対しても更新されたゾーンに関するコマンドが送出されます。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

2-4. ゾーンファイルの登録確認

nslookupコマンドによる確認方法

以下の手順で、DNSサーバにお客さまが作成した正引きゾーンファイル登録変更用ファイルが 正しく反映されているかをチェックします。
ゾーンファイル登録したNS、MX、A等の各レコードの設定確認を行います。



「手順②ネームサーバ情報の変更」が反映されてから確認可能となります。

《Windows端末からの確認（例）を以下に示します》

①メニューのプログラムからMS-DOSプロンプトを起動します。

②nslookupプログラムを起動します。
（default serverに指定されたIPアドレスのDNS逆引きが出来ないと正常に動作しません）

```
>nslookup
Default Server: ns6-tk**.ocn.ad.jp
Address:61.207.9.5
>        例えば上記のように表示されます。
```

③ネームサーバの問い合わせ先をプライマリDNSサーバへセットします。

```
>server ***.ocn.ad.jp              ←「ご利用内容のご案内」記載のプライマリDNSサーバへ設定
 Default Server: ***.ocn.ad.jp     ←「ご利用内容のご案内」記載のプライマリDNSサーバ
   Address: ***.***.***.***        ← プライマリDNSサーバのIPアドレス
```

④DNSのレコードタイプをA（例：Aレコード）に変更します。

```
> set  q=A
```

⑤該当ドメインのネームサーバ情報を表示させます。

```
>host1.userdomain.                 ← お客様ドメイン名を入力
Server: ***.ocn.ad.jp              ← 参照しているサーバ名
Address:***.***.***.***            ← 参照しているサーバIPアドレス

name: host1.user.domain            ← 設定されているサーバ名
Address:192.168.10.33              ← 設定されているIPアドレス
```

登録内容と同一であれば登録確認完了です。
同じように他の登録レコード（MX）等でも確認を実行してください。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

3. レコード一覧

各レコードの記述方法の説明とプライマリDNSでの各リソースレコードの編集の可否を説明します。

（1）レコード種別

編集できるレコード種別は以下のとおりです。その他のレコードに関して、記述した場合、動作保証はいたしません。

■正引き

レコード名	説明	記述の可否
SOA (Start Of Authority)	ゾーンの始まりを示すレコード	△ （一部不可）
NS (Name Server)	指定されたドメインにおいてサービスを提供するホスト（ネームサーバ）を指定するレコード	○
A (Address)	ホストのIPアドレスを記述するレコード	○
CNAME (Canonical NAME)	ホストの別名を定義するレコード	○
MX (Mail eXchange)	メールの配送方法を指定するレコード	○
TXT	任意の文字列を記述するレコード(※)	○
SRV (SeRVice)	提供されているサービスを示すレコード	○
AAAA	IPv6でホストのIPアドレスを記述するレコード	○
A6	IPv6の新しい仕様を使用する為の正引きレコード	○

※SPFレコードはTXTレコードにて作成します。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（2）SOAレコード

OCNのプライマリDNSを利用の場合、SOAレコードは開通時にはOCN側であらかじめ設定します。
SOAレコードについては全ての項目を自由に編集することはできません。項目により下記のような設定内容の制限を設けています。

```
①name  [ttl]  IN  SOA  ②origin ③person (
                                    ④serial
                                    ⑤refresh
                                    ⑥retry
                                    ⑦expire
                                    ⑧minimum
                              )
```

項目	説明	編集の可否
①name	ドメイン名を指定します。 初期設定値：@	×
②origin	プライマリDNSサーバを指定します。 初期設定値：お申込のDNSサーバ名	×
③person	DNS管理者のメールアドレスを指定します。 初期設定値：root.ocn.ad.jp ← 変更推奨（注1）	○
④serial	ゾーンファイルのバージョン番号 初期設定値：1	△ （4,294,967,295以下）
⑤refresh	セカンダリサーバのプライマリサーバへのポーリング間隔を指定します。 初期設定値：86,400（秒）←1日（注2）	△ （60以上、604,800以下）
⑥retry	セカンダリサーバのポーリングに失敗した際のリトライ間隔を指定します。 初期設定値：3,600（秒）　←1時間（注2）	△（60以上、3,600以下）
⑦expire	セカンダリサーバのゾーン情報有効期限を指定します。 初期設定値：604,800（秒）←1週間（注2）	△（3,600以上、2,592,000以下）
⑧minimum	ネガティブキャッシュのTTL値を指定します。 初期設定値：1,200（秒）　←20分（注2）	△（300以上、604,800以下）

※注1：初期設定値のままではOCNへメールが来ても対応はいたしません。
※TTLについては制限があり、⑧minimumと同じく300以上、604800以下となります。
※注2：初期設定値を推奨値としています。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（3）NSレコード

OCNのプライマリDNSを利用の場合、NSレコードは開通時には2レコードのみOCN側であらかじめ設定します。
NSレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
NSレコードは複数記述できます。

①domain [ttl] IN NS ②server

項目	説明	編集の可否
①domain	ドメイン名を指定します。 初期設定値：（空白）	○
②server	ネームサーバを指定します。 初期設定値：OCN DNSサーバ名	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

（4）Aレコード

Aレコードについ てはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
Aレコードは複数記述できます。

①host [ttl] IN A ②address

項目	説明	編集の可否
①host	ホスト名を指定します。	○
②address	IPアドレスを指定します。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です

（5）CNAMEレコード

CNAMEレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
CNAMEレコードは複数記述できます。

①nickname [ttl] IN CNAME ②host

項目	説明	編集の可否
①nickname	ホスト名の別名を指定します。	○
②host	ホスト名の正式な名前を指定します。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（6）MXレコード

MXレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
MXレコードは複数記述できます。

①domain [ttl] IN MX ②preference ③server

項目	説明	編集の可否
①domain	メールのドメイン部分(電子メールアドレスの@以降)を指定します。	○
②preference	優先順位を示す整数値を指定します。	○
③server	メールを転送するホストを指定します。 ホストの本名を指定してください。別名（CNAME）は不可となります。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

（7）TXTレコード

TXTレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
TXTレコードは複数記述できます。

①domain or hostname [ttl] IN TXT ②text

項目	説明	編集の可否
①domain or hostname	ドメインもしくはホスト名を指定します。	○
②text	任意の文字列（255文字まで、「“」、「<」、「>」、「&」、「,」や「改行」を除く）を記述できます。 また、TXTレコードは通常ダブルクォーテーション（”）で囲む必要がありますが、CSVファイルに記述する際は、ダブルクォーテーションで囲む必要はありません。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。
※SPFおよびDKIMはTXTレコードにて設定します。
TXTレコードに登録可能な文字数に制限(最大255文字)がございますので、DKIMを使用する場合は鍵長や利用するタグを調整頂く必要がございます。また、TXTレコードは「”(ダブルクォーテーション)」を利用した値の分割には対応しておりません。そのため、DKIMの鍵長「2048bit」は使用できません。

例1)一般的なタグを利用する場合
dkim._domainkey IN TXT ″v=DKIM1; k=rsa; p=MIGfMA0GCS(-- skip --)DQYYWCuiij5xvbAGAQIDAQAB″
公開鍵のデータ(p)は237文字(255文字-18文字(v=DKIM1; k=rsa; p=))使用することが可能です。

例2)必須のタグのみ利用する場合
dkim._domainkey IN TXT ″p=MIG6MA0GCSqGSIb3DQEBAQUAA4(-- skip --)AIwyIPa1CX5Jt8+QrwIDAQAB″
公開鍵のデータ(p)は253文字(255文字-2文字(p=))使用することが可能です。
v=DKIM1、k=rsaの場合、上記のように記述することは可能ですが、Keyレコードのバージョン番号を示すタグ(v)を省略することは非推奨とされていますのでご注意ください。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（8）SRVレコード

SRVレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
SRVレコードは複数記述できます。

①_service._protocol [ttl] IN SRV ②Priority ③Weight ④Port ⑤Target

項目	説明	編集の可否
①service、protocol	サービス名、プロトコル名を指定します。 ※サービスの別名の前に「_」(ｱﾝﾀﾞｰﾊﾞｰ)を付け、使用するプロトコルの前にも「_」(ｱﾝﾀﾞｰﾊﾞｰ)を付けたものを「.」(ﾄﾞｯﾄ)で連ねます。 例）サービス：ftp、プロトコル：tcpの場合 _ftp._tcp	○
②Priority	優先順位を示す整数値を指定します。	○
③Weight	負荷分散を示す正数値を指定します。	○
④Port	サービスを提供するPort番号を指定します。	○
⑤Target	サービスを提供するホスト名を指定します。	○

※TTLについては300以上、604,800以下で設定可能です。

※office365用には以下の2つのSRVレコードを作成します。
（設定例）
_sip._tls IN SRV 100 1 443 sipdir.online.lync.com.
_sipfederationtls._tcp IN SRV 100 1 5061 sipfed.online.lync.com.

（9）AAAAレコード

AAAAレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
AAAAレコードは複数記述できます。

①host [ttl] IN AAAA ②address

項目	説明	編集の可否
①host	ホスト名を指定します。	○
②address	IPv6のIPアドレスを指定します。	○

※TTLについては300以上、604800以下で設定可能です。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（10）A6レコード

A6レコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
A6レコードは複数記述できます。

①host [ttl] IN A6 ②prefixlength ③address ④prefix

項目	説明	編集の可否
①host	ホスト名を指定します。	○
②prefixlength	プレフィックス長を指定します。	○
③address	IPv6アドレスを指定します。	○
④prefix	プレフィックス名を指定します。	○

※TTLについては300以上、604800以下で設定可能です。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（11）DNAMEレコード

DNAMEレコードについてはTTL以外、全ての項目を自由に編集することができます。
DNAMEレコードは複数記述できます。

①ip-address [ttl] IN DNAME ②target

項目	説明	編集の可否
①ip-address	IPv6アドレスを指定します。	○
②target	ホストを指定します。	○

※TTLについては300以上、604800以下で設定可能です。

（12）$TTL

ゾーンファイルの先頭で、各リソースレコードのデフォルトTTL値を下記のフォームで設定します。
この記述がないものは、コントロールパネルから登録する際にエラーとなりますのでご注意ください。

$TTL ①ttl

※TTLについては300以上、604800以下で設定可能です。
※初期設定値：86,400(秒)　←1日 として推奨値としています。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

4. ゾーンファイル編集時の注意点

4-1. チェック項目と制限事項

ゾーンファイルをコントロールパネル登録する際に、以下の項目のチェックを行います。

チェック項目	チェック内容	制限値
ゾーンファイルの行数	・記述できるゾーンファイルの行数	**500行まで**
対応するTYPE（レコード）	・SOA、NS、A、CNAME、MX、TXT、SRV、AAAA、A6、DNAME	
ゾーンファイル先頭でのTTL設定	・$TTLがあること ・TTL値が許容される最小～最大値の範囲内であること	300≦TTL ≦604800
各リソースレコードのTTL値	・最小～最大値の範囲内であること	300≦TTL ≦604800
SOAレコードの項目値 下記以外	・SOAレコードがあること ・ネームサーバ名があること ・管理者アドレスがあること（お客さまアドレス推奨） ・‘(’ があること ・‘)’ があること	
serial	・serial値があること ・最大値以下であること **・シリアル番号が増加していること**	serial ≦4,294,967,295
refresh	・REFRESH値があること ・最小～最大値の範囲内であること	60≦refresh ≦604,800(1週間)
retry	・RETRY値があること ・最小～最大値の範囲内であること	60≦retry ≦3,600(1時間)
expire	・EXPIRE値があること ・最小～最大値の範囲内であること	3,600≦expire ≦2,592,000(30日)
minimum	・MINIMUM値があること ・最小～最大値の範囲内であること	300≦minimum ≦604,800
NSレコード	・ホスト名があること	
Aレコード	・Aレコードのアドレスがあること ・アドレス表記が正しいこと	
AAAAレコード	・AAAAレコードのアドレスがあること	
CNAMEレコード	・ホスト名があること	
MXレコード	・preference及びserverがあること ・preferenceが数字であること	
A6レコード	・prefix length及びaddressがあること ・prefix lengthが数字であること	
DNAMEレコード	・target値があること	
TXTレコード	・テキストの文字数	255文字まで
SRVレコード	・priority、weight、port及びtargetがあること ・priority、weight及びportが数字であること	
文字	**・全角文字でないこと** **・[“」、「<」、「>」、「&」、「,」や「改行」を含まないこと**	
アップロードファイルのサイズ	1MByteをこえないこと。	
構文チェック	ゾーンファイルの文法上の誤りの有無	

□ 内は、特に気をつけていただきたい箇所となります。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

4-2. その他の編集時の注意点

（1）コントロールパネルの操作上の注意点

① コントロールパネルをログアウトせずにブラウザの閉じるボタンを使用した場合などにコントロールパネルにロックが かかり、編集処理が行えなくなることがあります。ロックがかかった場合には設定メニュー画面の「ロック解除」ボタンを クリックして ロックを解除してください。

② 最終更新日は、最終更新日から1年以上経過している場合「月 日 年」、1年未満の場合「月 日 時刻」と表示されます。

（2）レコード記述上の注意点

③ SOAレコードのserial値は自動で増加されません。お客さま自身で編集時点の値より大きく設定する必要があります。値を変更せず登録ボタンを押下した場合エラーとなりますのでご注意ください。

④ 各レコードが指定長より長い場合、数値を入れる項目に文字列が入っている場合エラーとなりますのでご注意ください。

⑤ ホスト名に使用できる文字は、大文字/小文字の区別がありません。半角英数字と「-」（ハイフン）のみ利用できます。ホスト名の最初と最後の文字は、半角英数字である必要があります。「-」（ハイフン）は、最初と最後に利用できません。
例 ○ test-host × host-

※例外として、DKIMレコードやDMARCレコードについては「_(アンダーバー)」が許容されております。

⑥ CNAME（別名）でのラウンドロビンは利用できません。例
host1 IN CNAME host2
host1 IN CNAME host3

⑦ CNAME（別名）で定義したホスト名をAレコードで利用することはできません。例
host1 IN CNAME host2
host1 IN A 192.168.10.1

⑧ ホスト名にFQDNを記述する場合、必ず名前の後ろに「.（ドット）」をつけて下さい。

⑨ TXTレコードは「”(ダブルクォーテーション)」を利用した値の分割には対応しておりません。255文字に収まるように調整ください。そのため、DKIMの鍵長「2048bit」は使用できません。

（3）レコード単位の編集上の注意点

⑩ レコード行追加で追加される場所はゾーンファイルの末尾となります。また、空行を追加することはできません。

⑪ Name欄の値が省略可能なレコード種別にて欄の入力を省略した場合、1つ上のレコードの値が入力されたものと みなされます。ただし、1つ上のレコード種別がCNAMEである場合、エラーとなりますのでご注意ください。
また、Name欄の値として「@」を記載した場合は、契約ドメイン名が入力されたものとみなされます。
例 （契約ドメイン名がuser.domain.の場合）

host1	IN NS	ns.user.domain.	… host1.user.domain.に対してNSレコードが設定されます
	IN MX 10	mail1.user.domain.	… host1.user.domain.に対してMXレコードが設定されます
@	IN MX 10	mail2.user.domain.	… user.domain.に対してMXレコードが設定されます
user.domain.	IN MX 20	mail3.user.domain.	… user.domain.に対してMXレコードが設定されます

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

（4）ファイルアップロードによる編集上の注意点

⑫ 登録/変更するゾーンファイルは、設定メニュー画面よりダウンロードしたファイル（csv形式）を編集したものを
ご利用ください。Excelで編集する場合は必ず「ファイルの種類」を「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」にして保存してください。

⑬ CSVファイルにおいて、SOA、NSのレコードの位置は変更しないでください。
リソースレコードを追加編集する場合は、9,10行目のNSレコードより下の行にて追加をしてください。

■正引き設定フォーマット

$TTL		86400				
@	[ttl]	IN	SOA	ns6-tk01.ocn.ad.jp.	postmaster.ドメイン名 ＊1	(
2002051101						
3600						
600						
1209600						
86400						
				)		
	[ttl]	IN	NS	DNSサーバ名①		
	[ttl]	IN	NS	DNSサーバ名②		
	[ttl]	IN	A	IPアドレス①		
www	[ttl]	IN	A	IPアドレス②		
mail	[ttl]	IN	A	IPアドレス③		
ftp	[ttl]	IN		www		
	[ttl]	IN	MX	10	メールサーバ名	
v6	[ttl]	IN	AAAA	IPv6アドレス①		
	[ttl]	IN	TXT	TXTレコード		

1ゾーンファイルに記述できる行数は、パラメータ管理として、**500行**までとなります。
TTL値を大きくしすぎると、他DNSへの反映が遅れることもありますので、目安として1日（86400）となります。
＊1・・・「postmaster.ドメイン名」は、「Postmaster@user.domain」の場合に「Postmaster.user.domain. 」という
表記となり最後は”.”(ドット）が入ります。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

4-3. エラーメッセージ

エラーメッセージ	エラー内容	備考
シリアル番号が更新されていません	データ登録／変更確認画面で登録の実行を選択した場合、又はCSVファイルをアップロードした場合に、以前とシリアル番号の値が変わっていない状態ですシリアル番号の値を増やした後に、再度、登録願います。	
ロックが存在しません。(ロックされていません)	ロックされていない状態でロック解除ボタンを押下されました。ロックされていない状態ですので、編集作業を継続してください。	
%d行：アドレスが不正です	Aレコードのアドレスが無かったり、不正な情報が入っています。再度適切な値を入力願います。	
%d行：SOAレコードがありません	SOAレコードが存在しません。修正願います。	
%d行：不正なデータがあります	指定以外の文字種が含まれています。修正願います。	
%d行：TTL の値が不正です	TTLの値が最少～最大の範囲に収まっていません。修正願います。	4-1項 参照
%d行：serial値が不正です	SOAレコードのSERIAL値が不正です。修正願います。	4-1項 参照
%d行：refresh値が不正です	SOAレコードのREFRESH値が不正です。修正願います。	4-1項 参照
%d行：retry値が不正です	SOAレコードのRETRY値が不正です。修正願います。	4-1項 参照
%d行：expire値が不正です	SOAレコードのEXPIRE値が不正です。修正願います。	4-1項 参照
%d行：minimum値が不正です	SOAレコードのMINIMUM値が不正です。修正願います。	4-1項 参照
%d行：データが足りません	必須項目の記載がありません。修正願います。	4-1項 参照
%d行：不要なデータがあります	CSVファイルフォーマット上不要なデータがあると判断された場合に表示されます。CSVファイルを修正願います。	4-1、4-2項参照
%d行：$TTLの指定がありません	$TTLの記載がありません。修正願います。	
%d行："IN"の指定がありません	INの記載がありません。修正願います。	
%d行：不正なリソースレコードです	NS/MX/A/AAAA/CNAME/SRV/TXT/A6/DNAMEに該当しないレコー ドが存在した場合に表示されます。修正願います。	
%d行：フォーマットが不正です	CSVファイルフォーマット上不要なデータがあったり、データが足りない場合に表示されます。CSVファイルを修正願います。	
括弧が閉じていません	SOAレコードのカッコがなかった場合に表示されます。修正願います。	
ゾーンファイルが大きすぎます	ゾーンファイルの行数エラーになった場合に表示されます。行数を制限値内に修正願います。	4-1項 参照
%d行：データが長すぎます	データが指定長を超えた場合に表示されます。制限値内に修正願います。	4-1,4-2項参照
エラーがあります。セットアップガイドを確認してください。 エラーの内容：FORMが正しく送信されませんでした。	ブラウザの更新(リロード）や戻るボタンを押下した場合等に表示されます。再度ログインをお願いします。	
ゾーンファイルを選択してください。	CSVファイルが選択されていない場合、又はファイルサイズが0バイトの時に表示されます。	
エラー!! - 現在，このサービスは使用できません。しばらく待ってからもう一度実行して下さい	システムエラーが生じました。再度お試し頂くか、しばらくしてから再度ログインをお願いします。	
エラーがあります。 エラーの内容：ゾーンファイルのチェックでエラーになりました。編集内容を確認の上、再度実行してください。	ゾーンファイルの文法チェックでエラーが発生しています。修正願います。	4-1項 参照
現在、ゾーンファイルを編集中、または編集中に強制終了された可能性があります。無視して編集する場合はロック解除ボタンを押してください。	ゾーンファイルの編集作業がロックされている状態です。強制的にロック解除し、編集作業を継続する場合は、ロック解除ボタンを押してください。	
アップロードできるファイルサイズを超えています。	アップロードしたCSVファイルの容量が制限値を超えています。	4-1項 参照

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved

DNSサービス セットアップガイド

©2025 NTTドコモビジネス株式会社

本書の無断複写複製（コピー）・転載を禁じます。

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved